

**1.園の基本姿勢について**

- A: ⑤危機管理は、園児の命にかかわることでもあり、全職員が「1.よくできている」となるよう努めてほしい。  
⑥業務における報・連・相は重要。風通しの良い、働きやすい職場環境を保つことが良い保育環境につながる。
- B: 職員の高い共通理解のもと 園の方針に沿った運営がなされていると思う。
- C: よいと思います。
- D: ②がその他の項目と比べて評価が低くなっており、指導計画を立てることの難しさがあるのかと想像します。  
園としてのサポートを期待します。
- E: 概ね「よくできている」と考えていらっしゃる先生が多いことに安心感を覚えます。
- F: 特になし

**2.幼保連携型認定こども園における教育及び保育の基本及び目標**

- A: 基本方針や全体計画は、園における教育・保育の根本であることから、全職員の歩調を合わせるためにも「1.よくできている」100%であることが望ましい。
- B: 小学校の学校教育目標をふまえた保育を行おうとしている姿が素晴らしい。
- C: よいと思います。
- D: ④で「あまりできていない」と回答された方は、具体的にどういったことができていないと感じているのか気になりました。
- E: 保育の基本及び目標に関しても、良い値になっていますので引き続き 高い意識を持っていただきたいです。
- F: 特になし

**3.教育及び保育の内容に関する全体的な計画の作成**

- A: 基本方針や全体計画は、園における教育・保育の根本であることから、全職員の歩調を合わせるためにも「1.よくできている」100%であることが望ましい。
- B: バランスのとれた全体計画が作成されている。
- C: いろいろなお子さんがいらっしゃる中で、難しい部分もあると思いますが、よいと思います。
- D: 1の回答と同様に園としてのサポートを期待します。
- E: あおば保育園は、他のこども園と違い、マーチング活動を積極的にされていて、独自の計画を作成していると思います。  
子どもたちが成長する過程が見られ、とてもうれしく思います。
- F: 特になし

**4.幼保連携型認定こども園として特に配慮すべき事項**

- A: ①～⑤は「1.よくできている」が6～8割程であるが、⑥は4割と低め。保護者との相互理解を深めてほしい。
- B: 施設環境が発達の段階に応じて整備されていて、とてもよい。
- C: 自発性も重要ですが、落ち着いた集団生活(話を聞く、ルールを守る、友達を大切にするなど)が送れるようにすることが大事だと考えています。
- D: ②④など安全面に関する項目で「あまりできていない」と回答されているのが気になります。改善につなげていただければと思います。
- E: 基本的に同一学年の子で学級が編成されているため、子どもたち同士が良い影響を与えていると思います。
- F: 特になし

**5.ねらい及び内容並びに配慮事項**

- A: 「1.よくできている」の割合が概ね8割超と高く、ねらいと内容を理解し、教育・保育に当たっていることがうかがえる。
- B: 5つのねらいに対して、バランスよく指導する土台が整っている。
- C: よいと思います。
- D: 特になし
- E: 保育園生活を通して、これらのねらいや内容を教えていただけることは、家庭とはまた違う影響があると思うので、高い値はよいことだと感じます。
- F: 特になし

**6.保育の実施上の配慮事項**

- A: 安全や心身の成長といった園児への配慮は、常に念頭にあってほしい。
- B: 外での活動がスムーズに行えるような工夫がなされていてよい。
- C: よいと思います。
- D: ②事故につながるような改善をお願いいたします。
- E: 昔と違い、現代ではいろいろと配慮していただいていることが多いと思います。その中でも、園児一人ひとりに接していただいていると思います。
- F: 特になし

## 7.指導計画作成にあたっての配慮すべき事項

- A:他の項目に比べ、「1.よくできている」の割合が低い。職員の声拾い上げ、原因を追求し改善につなげてほしい。
- B:小学校との連携も視野に入れた計画となっている。
- C:多様なニーズがある中、大変だと思います。お疲れさまです。
- D:1.3と同様です。
- E:あまりできていないと感じていらっしゃる先生方のフォローをしていただければと思います。
- F: 特になし

## その他 ご感想・ご意見など

- A: 全体的に「1.よくできている、2.まあまあできている」合わせて9割以上の評価となっているが、「1.よくできている」の割合がさらに高くなるよう努めてほしい。  
「指導計画を立てる・配慮する」項目において、「1.よくできている」の割合が低めに出ている。評価に迷いがあるのか不明であるが、評価基準を細分化すれば、より評価しやすくなるのでは。
- B: 子どもたちが生き生きと活動していて、よかったです。
- C: 特になし
- D: いつも子どもたちの成長 健康や安全に配慮していただき、有難うございます。
- E: 特になし
- F: いつもありがとうございます。

A: 小松市社会福祉協議会 事務局次長	倉 一正
B: 小松市立第一小学校 校長	山下 千華
C: 小松市立第一小学校 主幹教諭	吉田 大輔
D: 幼保連携型認定こども園あおば保育園 保護者会長	平島 寛之
E: 幼保連携型認定こども園あおば保育園 保護者会会長補佐	前戸 大貴
F: 社会福祉法人 あおば福祉会 評議員 (元 公立中学校校長)	安田 均